

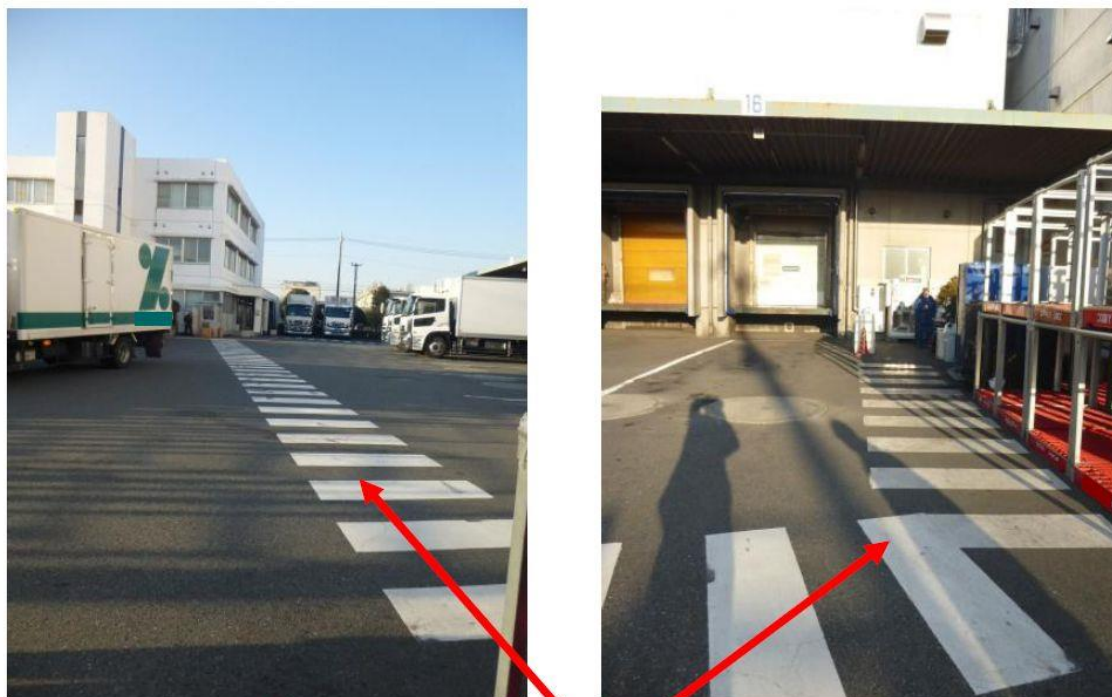
【好事例 10】 荷主等の取組の好事例（陸運業・倉庫業）

1 歩行者通路とフォークリフト走行路間の防護柵設置



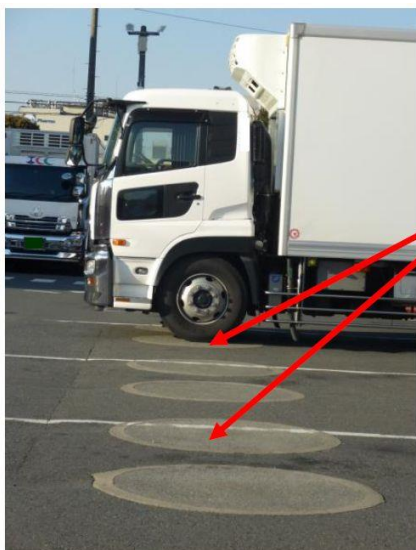
扉前など、歩行者とフォークリフトの動線が交差又は近接する箇所に強固な防護柵を設け、飛び出しを抑止し、接触事故防止の徹底を図っている。

2 構内歩行者用通路の表示



構内に歩行者用通路をゼブラマークで明示し、歩行者の誘導と車両からの注意喚起を図り、事故防止を図っている。

3 構内路面わだち掘れ対策（凹凸防止）



プラットホーム接車時のトラック前輪タイヤ部わだち掘れ対策として、当該部に強固なコンクリート舗装を行い、構内路面の凹凸化を防ぎ、労働者の転倒防止やトラック荷台の傾斜防止を図っている。

4 プラットホーム停車誘導線位置の工夫



プラットホーム接車時の誘導線をトラック右側に合わせる様に引いている。トラックを荷の積卸間口の位置に容易に合わせる事が出来、陸運事業者の労働者の負担を軽減している。